がいをとするののにする

（）

１　このは、をとするののにする（2565。「」という。）７にするについて、をとするののにする（2811。「」という。）にめるもののほか、がにするためになをめるものとする。

（）

２　２にめるないのびのにしてのは、にげるとする。

２　、「ましい」としているは、それをしないであっても、にするとされることはないが、（4584）のなびのをまえ、できるだけりむことがまれることをする。

３　３２にめるには、のがされた、するにして、のをにうようすることをむ。

（）

３　が、がいにしないをし、は、ながないにもわらずのをした、そのによっては、のにし、はをったにし、にされることがある。

（の）

４　によるがいをとするにするがいびそのそののからのににするため、に、のとおりをく。

２　をけるは、、、にするとともに、のほか、、ファックス、メールにえ、がいがとコミュニケーションをるにとなるなをなでしてするものとする。

３　１のにせられたは、のプライバシーにしつつでをり、のにおいてすることとする。

４　１のは、にじ、をるようめるものとする。

（・）

５　がいをとするののをるため、に対し、やをとするののにする（５３14。）のや、がいからをくをけるなどな・をうものとする。

２　たにとなったにしては、がいをとするのにするなについてさせるために、また、たにとなったにしては、がいをとするのにしめられるについてさせるために、それぞれ、をする。

３　に対し、がいのをさせるとともに、やにもしつつがいににするためになマニュアルのにより、のをる。

このは、28４１からする。

このは、３４１からする。

このは、６４１からする。

がいをとするののにするにる

１　ないのなえ

は、がいにして、ななく、がいをとして、・サービスやのをするはにたって・などをする、がいでないにしてはさないをけることなどにより、がいのをすることをしている。なお、、そのののやのいのをするためののをとしてわれるないも、がいをとするないにする。

また、がいののをし、はするためになのは、ないではない。したがって、がいをがいでないとべてするい（いわゆる）、にされたがいにするのによるがいでないとのなるいや、をするためになで、プライバシーにしつつがいにがいのをすることは、ないにはたらない。

このように、ないとは、ななく、がいを、となる又はについて、にするがじがいでないよりにうことであるにするがある。

２　なのの

　なにするのは、がいにして、がいをとして、・サービスやのをするなどのいがにてなのにわれたものであり、そのにらしてやむをないとえるである。においては、なにするかかについて、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、がい、の（：の、の、の）びのはの・・ののにみ、やにじて・にすることがである。

　は、ながあるとしたには、がいにそのをにするものとし、をるようめることがましい。その、とがいのが、おいにのをしながらをることがめられる。

３　ないの

　ながなく、ないにするとえられるびながあるため、ないにしないとえられるはのとおりである。なお、されているはあくまでもであり、これらのだけにられるものではないこと、なにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであること、ながありないにしないであっても、のをめられるにはのがであることにする。

（ながなく、ないにするとえられる）

* がいがあることをとして、にをする。
* がいがあることをとして、にのをしにする。
* がいがあることをとして、にの、の、パンフレットのをんだり、にするなをいたりする。
* がいがあることをとして、に、シンポジウムへのをむ。
* ・の、にではないにもかかわらず、がいをに、やのにのをめるなどのをけたり、にがないにもかかわらず、がいをにのをむ。
* がいのや、サービスのにおけるやのなどについてすることなく、としたのをにをする。
* のにがないにもかかわらず、がいでないとはなるでのをう。
* がいがあることをとして、がいにして、いやのなどにのをげる。

（ながあるため、ないにしないとえられる）

* をうにおいて、になのなのがまれるがいのあるがいにし、とはのをする。（がいのの）
* のがきのをしたに、をく、をするためのをう。（ののの）
* をうため、がいにしたがしようとしたに、なで、プライバシーにしつつ、がいにしがいのやののをする。（がいののの）

４　のなえ

１　のにする（「」という。）２において、「」は、「がのとのをとしててのびをし、はすることをするためのかつなびであって、のにおいてとされるものであり、かつ、をしたはのをさないもの」とされている。

は、におけるのをまえ、にし、そのはをうにたり、のにおいて、がいからにのをとしているののがあったにおいて、そのにうがでないときは、がいのをすることとならないよう、ののについて、をうことをめている。は、がいがけるは、がいのみにするものではなく、におけるなとすることによってずるものとのいわゆる「モデル」のえをまえたものであり、がいのをすることとならないよう、がいがのにおいてとしているをするためのかつなであり、そのにうがでないものである。

２　は、のはの・・にらし、とされるでのにするものにられること、がいでないとのにおいてののをけるためのものであること、はの・・のなにはばないことにするがある。そのにたってはこれらのにしたで、がいがにかれているをまえ、ののためのびについて、がいのをしつつ「５　なのなえ」にげるをし、のもめ、のによるをじて、かつなで、にがなされるがある。にたっては、がいにとってのをするためのかつなをがいとがにえていくために、がおいののにめることがである。えば、がいがののためにじているや、としてなをのでする、をじてをめ、なをにしていくことがなにするとえられる。さらに、のは、の、のにじてわりるものである。のにたっては、がいの、、にするものとし、にがいのあるにしては、がいにえてであることもまえたがめられることにする。

なお、がいとのがにわたるには、そののとはに、するのをにれることにより、・なコストの・につながるはである。

３　のにたっては、において、のにするをとしているにあることを（をむ。）のほか、、、カード、、、のやりサインによる、による、がいがとコミュニケーションをるにな（をするものをむ。）によりえられる。

また、がいからののみでなく、がいのによりのがなには、がいの、・、、コミュニケーションをするがをしてうのもむ。

　　なお、のがながいが、、・、をっていないなど、のがないであっても、がいがのをとしていることがであるには、のにみれば、がいにしてとわれるをするためにをきかけるなど、なにめることがましい。

４　は、のがいのをしてにわれるのバリアフリー、の、アクセシビリティのの「の」をとして、のがいにして、そのにじてにされるである。したがって、におけるののにより、のはなることとなる。また、がいのがすることもあるため、に、がいとのがにわたるには、するについて、、しをうことがである。なお、のがいがしるをあらかじめするというから、のがいへのについてもしたのをうことや、・をにするから、のにするをに、やマニュアルのののをることはである。

５　なのなえ

　なについては、なをせずになをするなどしてのをなうことなく、のごとに、のをし、やにじて・にすることがである。は、なにたるとしたは、がいににそのをするものとし、をるようめることがましい。そのにはのとおり、とがいのが、おいにのをしながら、をじてをり、のもめたをにすることがめられる。

* はへのの（はの、、をなうかか）
* の（・、・の）
* ・の

６　の

　４でしたとおり、は、やにじてなり、かつのいものであるが、としては、のようなものがある。なお、したはあくまでもでありずするものではないこと、されているであってもにするものがあることにするがある。

（にたりるへのの）

* があるに、にキャスターげのをする、スロープをすなどする。
* のいにかれたパンフレットをってす。パンフレットのをかりやすくえる。
* のまでののに、がいのにわせたでいたり、・・のりについて、がいのをいたりする。
* がいのにより、にのがあるに、のをにする。
* をじやすいがいからでののしがあった、のがであるに、がいにをし、のくにをさせてのスペースをける。
* によりをさえることがしいがいにし、がをさえたり、バインダーのをしたりする。
* やがした、でのをくことがしいがいのあるにし、、きのボードをいて、わかりやすくしをる。
* イベントにおいてがいのあるどもがやこだわりのあるをしてしまうに、からどものやコミュニケーションのについてきったで、ちかないのときはにする。
* がいのあるからトイレのをするようめがあったに、めにじてトイレのをする。その、のがいるは、がいのにじてのがする。

（にたりるの、びへのの）

* 、みげ、、、、によるのコミュニケーションをいる。
* について、、でするに、のでページがなりること、ではがないことにしてする。
* がいのあるにをする、みげソフトにしたデータでする。
* がながいにし、カードをしてをする。
* などで、でうを、にメモをしてす。
* のに、をののでしたり、わかりやすいでしたりする。のがあるには、やといったをう。
* がながいにし、や、などをいずににする。
* がいからしがあったに、ゆっくり、に、りしし、がされたことをしながらする。また、なじみのないはける、はいない、は24ではなく・でするなどのをにいたメモを、にじてにす。

（ルール・のなの）

* をつことがながいにし、ののをたで、きをれえる。
* ってにんでをっているに、ののをたで、がいのがるまでやをする。
* スクリーン、、がよくえるように、スクリーンにいをする。
* をにいへする。
* にカードゲートをすることがな、ルートからのをめる。
* との、のにいることによるにより、がある、がいにの、がいのやのにじてをする。
* はをうにおいて、にるがられることをに、がいのあるのをするのをめる。

（そののにおけるましいの）

* のみのに、、のするのをき、そのにじて、がいのあるにし、なでのをう。
* のにたり、がいのあるにし、ゆっくり、なをがけるなどのをう。
* ので、にし、はとはページがなり、がないことなどをし、をしたり、したりするには、をみげるなどがいのあるやにしてをうこと、のはをうこと、また、にができるように、ゆっくりと、かつ、はっきりとすることなどをめる。
* のやにたっては、がのがいのにったサポートをう、なでのをう。たとえば、がいのあるにをするとともに、は、がにってサポートをう。また、をするとともに、にができるように、にをする。

　また、のにするとえられるびしないとえられるとしては、のようなものがある。なお、されているはあくまでもであり、のにするかかについては、のごとに、のをまえてすることがであることにする。

（のにするとえられる）

* をけるにがなためデジタルのをめるがあったに、デジタルのみをめたがないことをに、なをうことなくにをること。
* イベントのにしてをめるがあったに、「かあったらる」というなでなのをせず、をること。
* がながいからのによりがえるようをめられたに、マニュアル、はによるのみでとすることとされていることをとして、メールやリレーサービスをしたのをせずにをること。
* をとするがいから、のにたりのをめるがあったに、がのみのをルールとしていることをとして、であるがいのやのをすることなく、にのをること。
* でのをしているセミナーにおいて、のがいからスクリーンやがよくえるでのセミナーをするがあったに、のなどのをせずに「いはできない」というでをること。

（のにしないとえられる）

* のとしてっていないのをめられたに、そのをること。（とされるでのにするものにられることの）
* みとなっているへのについて、みのをうことがであることをに、へのをにしておくようめられたに、をること。（がいでないとのにおいてののをけるためのものであることの）
* イベントに、がいのあるからにし、イベントをきってブースをってほしいまれたが、であり、できるがいないことからをること。（な（・の）の）

（がいガイドラインについて）

　をめけには、「がいガイドライン」にがにたるのか、としてどのようながましいのかなどについてなえやをしているので、されたい。

（におけるについて）

　におけるのやがするでのにしては、『「をとするののにする」について～「ともにび、ともにつ」づくりをめざして～』（）にされているので、されたい。

|  |  |
| --- | --- |
| はの |  |
| びの |  |
|  |  |
|  |  |